

平成27年度 佐渡市社会科部 活動報告

部長 松本 真一郎

1 研修の方針

授業研究、地域巡検を通して、社会科の指導力の向上を図る。

2 研修内容

(1) 地域巡検

① 期 日 8月7日(金)

② 内 容

小木地区を中心とした地域巡検を行った。内容は、ア. 小木地区ジオパーク見学、イ. 佐渡汽船新造船「あかね」見学(小木港)、ウ. 北雪酒造見学(赤泊)、エ. NISACO(松ヶ崎)工場見学である。

参加者は海食洞の成立や地区住民の生活とのつながりをはじめ、南部地区商業施設について理解を深めることができた。



<琴浦・海食洞見学の様子>



<「北雪酒造」見学の様子>

(2) 授業研究会

① 期 日 10月14日(水)

② 授業者 菊田 薫 教諭 (佐渡市立小木小学校)

③ 学年・単元名 6学年「新しい時代の幕あけ～ノルマントン号事件と条約改正～」

④ 指導者 松ヶ崎小学校 教頭 泉 実 様

⑤ 主な内容



本時のねらいは「ノルマントン号事件をきっかけに条約改正の声が高まったことを知り、既習事項をもとに、不平等条約を訴える演説文を書くこと」であった。ねらいを達成するために、ア.復習クイズ・壁面掲示、イ.当時の人々の思いを知ることでできる資料の提示、ウ.グループでの話し合い活動、エ.ワークシートの活用などの方法を取った。

協議会では「不平等条約を訴えるまでには子どもたちの意識は高まっていなかった。」「さらに具体的な事件の様子を表す資料があるとよかった。」等の意見が出された。

指導者の泉実様からは、既習事項の取り入れは良かったが、資料の出す順番を変えた方が演説の必然性が高まったとの御指導をいただいた。

(3) 相川郷土博物館クイズブック有志の会

・有志の9名と佐渡博物館の方々と協議しながら、「相川郷土博物館クイズブック」を作成。12月に佐渡博物館へ完成データを送付する。平成28年4月から、相川郷土博物館で使用される。

(4) 社会科学力向上委員会

・小学生が楽しんで学習し、知識・理解、思考・判断・表現力が増す教材の収集・開発と情報発信を行うことを目的に結成する。有志の6名で毎月1回集まり、実践を収集。平成28年2月に平成27年度分をまとめて何らかの形で情報発信を行う予定。

3 成果

- ・巡検、研究会においては、社会科教師としての専門性が養われた。
- ・クイズブックの作成、社会科学力向上委員会では、子どもたちや社会科を専門としない人への貢献活動を行うことができた。来年度、さらに活動を継続していくことで、発展的な活動になる可能性が広がっている。